

# 一 般 仕 様 書

## 1. 委託業務番号及び名称

令和7年度 排委第1号 川越町内排水機場維持管理業務委託

## 2. 施設の場所

三重郡川越町大字 亀崎新田 地内

## 3. 維持管理施設名

- (1) 川越排水機場 施設及びその場内（場内周辺を含む）
- (2) 湛水防除排水機場 施設及びその場内（場内周辺を含む）
- (3) 里中排水機場 施設及びその場内（場内周辺を含む）
- (4) 亀崎北樋門 施設及びその場内（場内周辺を含む）
- (5) その他排水に伴う緊急時における対応及び処置

## 4. 維持管理期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで（3ヵ年間）

## 5. 委託業務内容

- (1) 維持管理各施設の保守管理業務及び運転作業監視業務
- (2) 維持管理施設のその他の業務
- (3) 維持管理施設の警備、防火管理などその他必要なもの
- (4) その他下水道施設維持管理積算要領（終末処理場・ポンプ場施設編）に準じる

## 6. 維持管理施設の主な概要

### (1) 川越排水機場

#### イ) 排水機場の設備

仕 様 種 別	口径 (mm)	排水能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	揚程 (m)	電動機 (kw)	原動機 (PS)	摘 要
立軸斜流ポンプ (No.1)	1,500	270	6.5	420	600	S63.6 設置
〃 (No.2)						
〃 (No.3)	2,000	540	6.5	—	1,200	H12.3 設置
〃 (No.4)						
〃 (No.5)						

#### ロ) ポンプ棟及び放流渠

- ① 土木施設（下部） 20m×45m
- ② 建築施設（上部） 20m×45m
- ③ 放 流 渠 2連：幅 4.8m×高さ 2.4m×長さ 45.5m
- ④ 放流ゲート 2門：幅 4.8m×高さ 2.4m

## ハ) 附属設備

- ① 除 塵 機                      間欠式前面かき揚げ型 (3 基)  
  ダブルチェーン式前面かき揚背面降下型 (2 基)
- ② 予備発電機                    400kVA (1 台)
- ③ 天井走行式クレーン        手動式: 35 ton、16ton、8ton
- ④ 貯油タンク                    10.0 m<sup>3</sup> (2 基)
- ⑤ 監視用テレビ                放流渠先端部、除塵機前流入部、搬出機 1,2 号・3 号

## (2) 湛水防除排水機場

仕 様 種 別	口径 (mm)	排水能力 (m <sup>3</sup> /分)	揚程 (m)	電動機 (kw)	原動機 (PS)	摘 要
立軸斜流ポンプ (No.1)	1,650	336	4.0	—	460	S58.3 設置

## イ) 附属設備

- ① 除 塵 機                      ロータリレイキ式前面かき揚げ型 (2 基)
- ② 予備発電機                    150kVA (2 台)
- ③ 放流ゲート                    1 門
- ④ 貯油タンク                    3.0 m<sup>3</sup> (1 基)

## (3) 里中排水機場

仕 様 種 別	口径 (mm)	排水能力 (m <sup>3</sup> /分)	揚程 (m)	電動機 (kw)	原動機 (PS)	摘 要
水中ポンプ	800	80	4.0	90	—	S56.5 設置
水中ポンプ	600	51	4.0	55	—	S53.8 設置

## イ) 附属設備

- ① 予備発電機                    25kVA (1 台)
- ② 放流ゲート                    1 門
- ③ 貯油タンク                    1.5 m<sup>3</sup> (1 基)

## (4) 川越海岸 亀崎北樋門

川越海岸亀崎北樋門操作業務委託契約書に基づき業務を行うものとする

- 1) 巡視点検                      1.0 式                      1 回/月、2h/1 回
- 2) 異常出動                      1.0 式                      5 回/年

## イ) 附属設備

- ① 非常用発電機                    3.5kVA (1 台)

## (5) その他排水に伴う緊急時における対応及び処置

排水機場へ流入する雨水幹線水路等の油流出に伴うオイルフェンス設置撤去及び中和剤散布などの対応並びに処置を行うものとする。

その他、緊急時必要に応じて町の指示において対応並びに処置を行うものとする。

# 第1章 総則及び作業要領

## 第1章 総 則

(目 的)

第1条 本仕様書は、排水機場における施設の管理業務（運転監視業務、点検整備業務、付随管理業務）を委託するにあたり、受任者の業務についてその業務要領を定めることを目的とする。

(委託業務の履行業務)

第2条 受任者は、町の業務を代行するものであるから特に人選を厳密にし業務を円滑に行うとともに施設の機能を充分達成できるよう契約書、仕様書に基づき委託業務を能力的、経済的且つ完全に履行しなければならない。また、新たに増設された施設、設備等の維持管理及び運転業務については、当町の指示に従い行わなければならない。

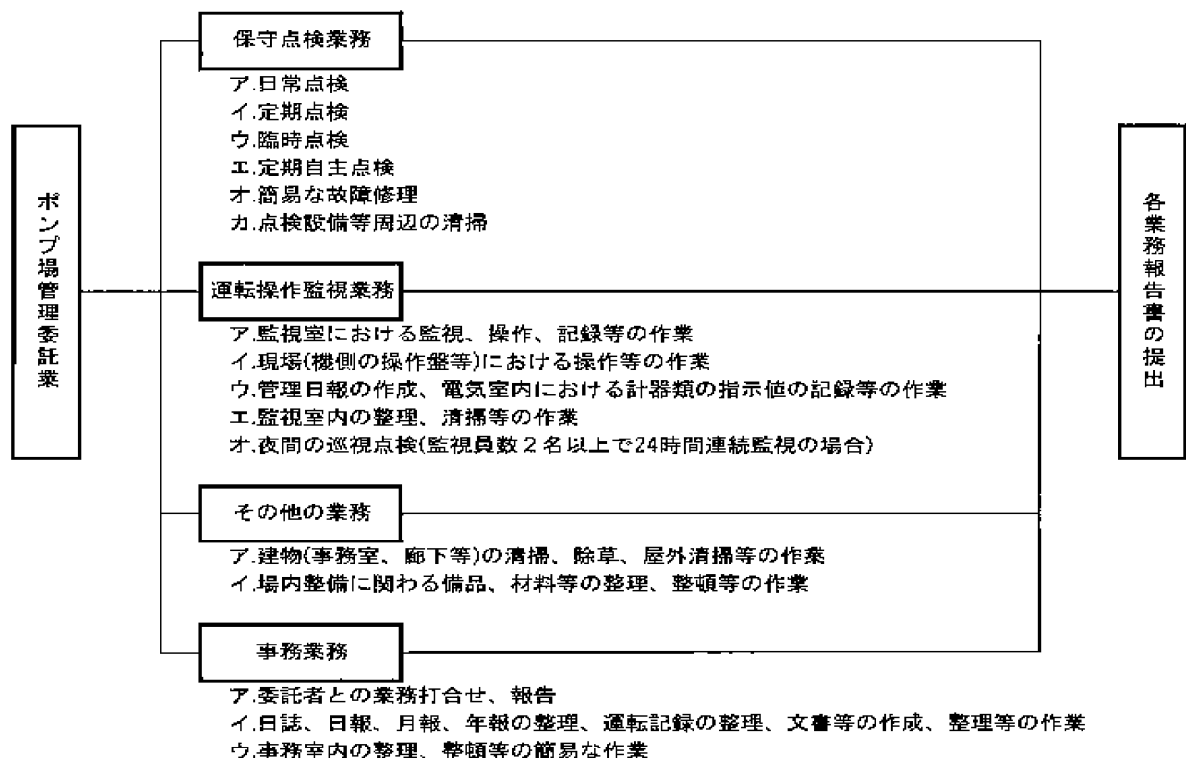
(委託業務場所名称及び所在地)

第3条 維持管理施設名及び所在地は、以下のとおりとする。

- (1) 名 称 川越排水機場、湛水防除排水機場、里中排水機場、川越海岸亀崎北樋門
- (2) 所 在 地 川越町大字 亀崎新田 地内

(委託業務の内容)

第4条 委託業務の内容は以下のとおりとする。ただし、詳細については第2章に示すものとする。



(指示の履行)

第5条 受託者は、当町の指示に従って従事しなければならない。

(委託業務に従事する従業員の承認)

第6条 受託者は、従業員となるべき者の氏名、年齢、職名、住所、経歴、資格及び健康であることを証明する書類、職務分担等を記載した書類を提出し、当町の承認を受けなければならない。

(委託業務に従事する従業員の承認の取消)

第7条 委託業務の従業員で、業務上不適格と認められた場合は認定を取消すものとする。この場合、受託者は速やかに排水機場から退場させ、代行者について当町の承認を受け業務に従事させなければならない。

(業務総括責任者の選任)

第8条 受託者は、委託業務について業務責任者を選任し当町の承認を受けなければならない。

受託者は、下水道管理技術認定試験合格者、または、下水道法施行令第15条の3に該当する者、若しくはこれらと同等の能力を有する者の中から本業務の業務総括責任者を選任しなければならない。

(業務総括責任者の承認取消)

第9条 前条に基づく業務遂行中の業務総括責任者であっても当町が不適格と認めた場合は承認を取消すものとする。この場合は直ちに代行者の承認を受け、当該業務に従事させると同時に第8条に定める承認を受けなければならない。

(業務総括責任者の業務)

第10条 業務責任者の職務は、以下のとおりとする。

- (1) 現場の最高責任者として、常に従業員の指揮、監督を適切に行うこと。
- (2) 設置機器類の製作所、設置会社及び教育研修期間による現地指導、内部研修及び講習会等には進んで参加して、技術の修得に努め、また従業員にも同様の処置を講じるものとする。
- (3) 担当職員と連絡を密にし、指示事項を的確に行わせるように従業員を指導すること。
- (4) 契約書、仕様書等の内容及び業務内容を充分把握し常に現場を巡視し状況を理解するとともに疑義等が生じた場合は、昼夜を問わず担当職員に速やかに連絡をし、指示を受けること。
- (5) 書類の提出等総括的な業務を行うこと。
- (6) 故障等異常事態が発生したとき、また発生する恐れがある場合には、応急の措置を講じるとともに、昼夜を問わず担当職員に速やかに連絡し、指示を受けること。

(従業員の勤務)

第11条 従業員の勤務については、労働基準法及び関係法令を遵守し勤務させなければならない。

(管理体制)

第12条 受任者は、委託業務を完全に履行するため、運転管理に必要な有資格者を確保し、機構、業務分担(人員配置)、従業員の経歴、安全衛生責任者、業務計画及び就業規則等の管理体制を

定め当町の承認を得なければならない。

（労務管理）

第13条 受託者は、従業員の労務管理の一切の責任を負うものとする。即ち、本業務は公共的使命が重大であることを念頭に置き、従業員のストライキ、退職欠勤等に対処できる体制を整えておくとともに、労務管理を十分に行わなければならない。

（従業員の安全管理）

第14条 業務上危険が伴う作業については、従業員に常に労働安全の指導と向上を図り、有資格者を従事させ、事故の防止に努めるとともに、労働安全教育、労働安全点検等を定期的に行い、労働災害防止対策を確立し、労働災害が発生した場合の対策として救護作業及び通信連絡等の訓練を行わなければならない。

（従業員の保健衛生管理）

第15条 受託者は、常に衛生管理を十分に行い、定期的に健康診断を行うものとしその費用は、受託者において負担しなければならない。

（事故の措置）

第16条 管理上の事故、故障、人身事故及び火災が発生した場合、受託者は直ちに応急措置を施し、担当職員にその顛末を通報し、指示を受けなければならない。

（緊急事態発生勤務体制）

第17条 大雨、台風及び重大事故の緊急事態に備えて、連絡体制を編成し、勤務外従業員が非常呼び出しに応じられる態勢を確立しておかななければならない。また、当町より非常呼び出しがあった場合速やかに指示に従い配置しなければならない。

（下水道処理施設維持管理業者登録簿への登録）

第18条 下水道施設の適正な維持管理の確保に資するため、受注者は国土交通省の下水道処理施設維持管理業者登録簿へ登録されていること。

（有資格者）

第19条 業務に必要な資格は以下のとおりとする。

- （1）下水道第3種技術検定（認定試験「処理施設」含む）
- （2）危険物取扱者（乙種第4類）
- （3）電気工事士
- （4）クレーン運転技能講習修了者
- （5）玉掛技能講習修了者
- （6）酸素欠乏危険作業主任者
- （7）ポンプ施設管理技術者
- （8）その他労働安全関係で必要な資格者は確保すること

(従業員の資格基準)

第20条 従業員は、職種別に次の資格を有するものとする。

(1) 主任(技術者)

下水道施設の運転操作、監視、点検整備及び補修造作を行える業務責任者となるもので高校卒業以上の資格を有し下水道の関連施設の実務経験を5年以上有する者。

(2) 技術員

主任技術者の指示により、施設の運転操作、点検整備及び補修造作を行えるもので、下水道の関連施設の実務経験を1年以上有する者。

## 第2章 委託業務の内容

(各業務報告書の提出書類)

第21条 提出を行う書類については、以下のとおりとする。

(1) 着手届

(2) 組織表(現場管理、安全管理)

(3) 業務総括責任者選任届

(4) 法定資格者選任届

(5) 事務室等使用願い

2 契約期間が満了したときは、速やかに完了届を提出しなければならない。

3 上記提出書類に変更を生じたときは、直ちに変更届を手出すること。

(各種機器の運転操作)

第22条 設備機器の運転操作は当町が指示する運転操作計画図書及び運転操作に必要な指示のとおり、忠実に履行しなければならない。

(運転効率調査)

第23条 運転効率の向上を図るため受託者は当町が行う各種の試験及び実験に積極的に協力しなければならない。

(報告書)

第24条 受託者は、日報、月報、運転操作、点検、修理、事故、支給品、(原材料・消耗品)使用状況及びその他の報告書は正確且つ迅速に作成して当町に提出しなければならない。

(点検保全)

第25条 点検は予防保全を主目的として行われなければならない。

(1) 日常点検は外観及び五感により判定し、異常があれば具体的に記述しなければならない。

(2) 機器類の保全業務は芯出し、保護装置の作動状態、シーケンスチェック、計測器の調整、給油、消耗部品の交換、清掃等を当町が定める保全基準に従い行われなければならない。

(3) 点検の結果、異常を発見した場合には、速やかにその状況を担当職員に報告し、その対応を協議しなければならない。

(修理及び造作)

第26条 受託者は、点検・整備で発見した不良箇所や故障の発生箇所にうち、修理業務おける機器類の部品交換（磨耗、変形、破損等が生じたもの）、現場で可能な範囲での解体分解、配管類（上水道管、ガス管大口径管及び特殊管を除く）の破損、つまり等の修理、構造物（ドアサッシ、シャッター、換気、空調、給排水、照明等）の簡易な補修等については、備え付け工具や材料を用い現場で修理可能なものについては、担当職員と承諾を得て修理しなければならない。ただし、備え付け等の備品類については、各種作業に必要なものは貸与するが、故障または破損、紛失した場合は直ちに、当町の指示に従い速やかにその処理を行わなければならない。

(改造)

第27条 改造業務は、不備なものを加工し取り付け、不便なものを改善、危険な場所の安全対策の施工及び各種試験、実験、設備の改善等、備付け工具材料等を用いて簡易にできるものは行われなければならない。

(火災の防止)

第28条 施設の火災を未然に防止するため、各個所毎に火元責任者を選任し、火気の正確な取扱い及び後始末を徹底させ、火災を防止するとともに消防用設備の定期点検を実施しなければならない。

(警備及び盗難の防止)

第29条 設備機器工具類の盗難及び侵入者の防止については十分監視に努め、場内を適宜巡回し警備しなければならない。

(危険物及び劇薬物の取扱い)

第30条 危険物及び劇薬物の取扱いについての作業は特に注意して従事するものとする。

### 第3章 その他の内容

(事務室等の使用)

第31条 職務遂行に必要な事務室、控室、浴室等（以下「事務室等」という。）は契約期間中、無償で貸与する。

2 事務室等の使用期間中、受託者の責任で汚損等があった場合には、受託者の費用で直ちに修復しなければならない。

3 事務室等の使用に伴う光熱水費用は無償とするが、その使用にあたっては、節約に努めなければならない。

（既存完成図書及び特殊工具等）

第32条 業務遂行上必要と認めた既存完成図書及び特殊工具等は町が貸与する。

2 受託者は、貸与された物品について台帳を作成し、その保管状況を明らかにしておかなければならない。

3 貸与品を損傷、または紛失した場合には、受託者がこれを弁済する。

4 点検整備、小規模修繕等に必要な小型工具類は、原則として受託者の負担とする。

（事務用品等）

第33条 業務処理に必要な事務機器、事務用品は、別に特記仕様書に定め支給品を除き、受託者の負担とする。

（従業員の服装等）

第34条 従業員には、清潔で安全な服装を行い、受託者職員であることを示す社章等を着用させる。

2 業務総括責任者及び法定資格者には、その旨を明示した名札等を着用させる。

（業務の引継）

第35条 受託者は、業務開始までに受託者の指導により前年度までの受託者と円滑に業務の引継ぎを行わなければならない。また、委託期間満了に伴う引継ぎも委託者の指示により、円滑に行わなければならない。なお、前年度までの受託者からの引継ぎに要する費用は、受託者が負担する者とする。

2 委託期間が満了したときは、使用施設を委託者の指示する状態に、指示した日までに復旧しなければならない。

（業務委託料の支払い）

第36条 業務委託料の支払は、年6回とし、100円未満の端数がある場合は当該年度最終支払いにあわせて支払いするものとする。

（疑義等）

第37条 本仕様書に疑義等が生じた場合には、当事者双方が協議のうえ、当町の解釈により従わなければならない。

（補足）

第38条 本仕様書に明記されていない事項については、当町の判断に従わなければならない。

指示されない事項であっても、運転操作監視上、当然必要な業務等は、良識ある判断に基づいて行わなければならない。



# 特 記 仕 様 書

（運転時間）

第1条 一般仕様書 第17条（緊急事態発生の勤務体制）の運転時間については、降雨出水時における所要時間の運転であるが、平常時は、当町の指示する場合に運転を行うものとする。

なお、業務人員については、運転管理に支障がないように配置すること。

＜業務人員配置（例）＞

職 種	勤務体制	人員
業務総括責任者	7日周期 ①昼勤務（8：30～17：15） ②昼勤務（8：30～17：15） ③昼勤務（8：30～17：15） ④昼勤務（8：30～17：15） ⑤昼勤務（8：30～17：15） ⑥公休日（土曜日） ⑦公休日（日曜日） ※ ただし、祝祭日及び年末年始は、公休日とする。	1人
運転操作、保守点検、 その他の業務	4日周期 ①昼夜勤務（8：30～翌8：30） ②夜勤明け ③公休日 ④昼勤務（8：30～17：15） ※ ただし、うち1人は主任(技術員)の代理者とする。	4人

注 降雨出水時は、必要に応じて増員しなければならない。特に流入井スクリーンが目詰まりによる上流地域への浸水が予想されるため、浮遊塵芥の障害物（し査）除去を行い排水に支障をきたさないようにすること。

（流入水面の浮遊塵芥除去作業）

第2条 流入する流入水面（調整池）に大型の浮遊塵芥を阻止するためゴミよけネットを設置してあるが、これに引っかかった塵芥の除去が必要が生じた場合は、その作業も適宜行うものとする。

そのため必要機材は、受託者が負担するものとする。

（流入油等の除去作業）

第3条 流入する雨水幹線等からの油の流入が確認された場合は、除塵機外の上流で阻止すること。

除去した油や油膜の付着物（オイルマット等）は産業廃棄物（し査混合物）として処分すること。

これら処分に関する必要経費は、別途町が負担するものとする。

（委託者が負担する費用項目）

第4条 委託者が、負担する費用は以下のとおとする。

- (1) 電気料金
- (2) 水道料金
- (3) 汲み取り使用料
- (4) 燃料油（事業用燃料：重油若しくはL S A重油）
- (5) 流入油分除去資材（オイルフェンス、オイルマット、中和剤等）
- (6) 河川情報用システム及びインターネット接続料
- (7) 同上用パソコン機器一式
- (8) その他消耗品等
  - ・潤滑油脂類（グリース含む）
  - ・電話使用料
  - ・維持管理施設の修繕代
  - ・維持管理施設の取替部品
  - ・維持管理施設の消耗品、備品

#### 別表 定期自主点検表

##### 1. 圧力容器定期自主点検表

項 目		点検事項
本 体		損傷の有無
付属品	ふたの締付けボルト	磨耗の有無
	管及び弁	損傷の有無

点検頻度：第一種圧力容器は、1回／月以内

第二種圧力容器は、1回／月以内

## 2. 地下タンク貯蔵所定期点検記録表

事業所名			所在地				
点検対象	設置許可年月日・番号						
	危険物の種類・品名・数量・倍数						
点検実施者	危険物取扱者	所属					
		氏名					
		免状の区分			免状番号		
	上記以外の者	会社名					
		所属					
		氏名					
		立会危険物取扱者	所属				
			氏名				
			免状の区分			免状番号	
危険物保安監督者	氏名			免状の区分		免状番号	
点検年月日	年 月 日		保存期限	年 月 日			

点検項目		点 検 内 容	点検方法	点検結果	設置年月日 及び措置内容
上部スラブ		亀裂、崩没、不当沈下の有無	目視		
タンク本体		漏洩の有無	*注1		
通 気 管 等	通気管	位置、固定の適否	目視		
		腐食、損傷の有無	目視		
		引火防止網の脱落、腐食、 目詰まりなどの有無	目視		
	安全弁	腐食、損傷の有無	目視		
		作動状況	取外しによる機能試験		
計 測 装 置	自動覚知装置	損傷の有無	目視		
		作動状況及び指示の適否	目視		
	圧力弁	損傷の有無	目視		
		取付部のゆるみなどの有無	目視		
		指示状況	目視		
	計量口	蓋の閉鎖状況	目視		
		変形、損傷の有無	目視		
漏洩探知管		変形、損傷、土砂等の堆積の有無	*注2		
注入口		蓋の閉鎖状況	目視		
		変形、損傷の有無	目視		
注入口ピット		亀裂、損傷、滯油、滯水、土砂等の 堆積の有無	目視		
		油種別表示の有無	目視		

点検項目		点 検 内 容	点検方法	点検結果	設置年月日 及び措置内容
配 管 等	配 管	漏洩の有無	*注 3		
		変形、損傷の有無	目視		
		塗装状況及び腐食の有無	目視		
		固定の有無	目視		
	点検ボックス	亀裂、損傷、滞油、滞水、土砂等の堆積の有無	目視		
	バルブ	漏洩、損傷の有無	目視		
		開閉機能の適否	作動確認		
	電気防食設備	端子箱の損傷、土砂堆積、端子のゆるみなどの有無	目視		
		防食電位(電流)の適否	電位計による測定		
ポン プ 設 備 等	ポンプ	漏洩の有無	目視		
		異音、異常振動、異常発熱の有無	目視		
		塗装状況及び腐食の有無	目視		
		固定ボルトの腐食及びゆるみなどの有無	目視及びテストハンマーなどによる		
	ポンプアース	断線の有無	目視		
		取付部の緩みなどの有無	目視		
		接地抵抗の適否	接地抵抗計による測定		
	囲い、床、 ためます、 油分離槽	損傷の有無	目視		
		滞水、滞油、土砂堆積等の有無	目視		
	建家及び 付帯設備	屋根、壁、開口部等の損傷の有無	目視		
		換気設備の作動状況	目視		
電 気 設 備	配電盤、 分電盤	損傷の有無、防水機能の適否	目視		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	遮断器	損傷の有無	目視		
		遮断機能の適否	動作確認		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	コンセント、 配線	損傷の有無	目視		
		絶縁抵抗の適否	絶縁抵抗計による測定		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	電動機	損傷の有無	目視		
		結合部のゆるみなどの有無	目視		
		異音、異常振動、異常発熱の有無	目視		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	設置	損傷、結合部のゆるみなどの有無	目視		
		接地、抵抗値の適否	絶縁抵抗計による測定		

点検項目	点 検 内 容	点検方法	点検結果	設置年月日 及び措置内容
移動タンク用 接地電極	損傷、結合部のゆるみなどの有無	目視		
	接地、抵抗値の適否	接地抵抗計による測定		
標識、掲示板	取付状況、記載事項の適否 及び損傷、汚損の有無	目視		
警 報 装 置	損傷等の有無	目視		
	作動状況	作動確認		
消 火 器	位置、設置数、外観的機能の適否	目視		
蒸発防止装置	損傷等の有無	目視		
	切替弁の作動状況	目視		

- 注 1. 検尺棒、自動覚知装置等により終業時、始業時ごとに危険物量を計ることによって、漏洩の有無を確認し記録しておくこと。
2. 長尺棒等により確認するとともに併せて漏洩危険物の有無についても確認すること。
3. 配管のうち地下に埋設されているものについては、点検ボックス等において確認すること。

- 備考 1. 措置内容欄に記入できない場合は、別紙に記載し添付すること。
2. 点検項目中、ポンプ設備等及び電気設備については、当該地下タンク貯蔵所の付属設備として許可設備である場合について記入すること。

## 1. 一般事項

### (1) 留意事項

この業務は、下水道施設（管渠、処理場、ポンプ場）のうち、中継ポンプ場（排水機場）の機械・電気設備の保守点検の標準的内容を示したものである。

本点検基準の運用にあたっては、以下の事項に留意する。

- 1) 記述されている点検内容は、維持管理施設内で行う範囲に限っており、外部機関（例えば、労働基準監督署）により実施されるものは含んでいない。
- 2) 定期自主検査が義務付けられている機器については、外部（専門メーカーなど）に委託しているものについても記載している。
- 3) 本基準には「電気事業法による保安規程」に係わる日常の業務も含んでいるが、電気主任技術者の業務は含んでいない。
- 4) 「2. 電気設備」の項に記述されている保守点検は、電気専門職により実施される作業であり、現場操作盤の確認等、電気設備であっても電気専門職が行う必要が無い作業項目については、「1. 機械設備」の項で記述した。
- 5) 現場操作盤が付随している機器については、「1. 機械設備」の項に現場操作盤の確認作業を記述した。

### (2) 保守点検作業の内容

#### 1) 目 視 作 業

機器及び全体の概観を目視し、損傷、亀裂、漏れ、さび及び臭気、音により正常か否かを判断する作業。

例:油漏れ、軸受けの異音、磨耗、シール面の当り、カップリングの空隙、ボルトのゆるみなど

#### 2) 触 感 作 業

機器に手を触れ、振動、温度等より正常か否かを判断する作業。

例：振動、グランドパッキン部の過熱等

#### 3) 確 認 作 業

各機器の圧力、温度、流量、電流等、計器の指示値を読み正常か否かを判断する作業であり、目視及び触感作業を含む。

例：電流、吐出圧、電圧、電力、吐出量、回転速度等計器の値を読み取り、正常か否かを判断する。

#### 4) 測 定 作 業

各機器の磨耗状態及び作動が、正常か否かを測定機器（温度計、振動計、回転計等）を使用して調べる作業。

確認作業が、現場に設置されている計器により行われるのに対して、測定機器を現場に持参して行う点が異なる。

例：軸受温度測定、振動測定、絶縁抵抗測定等

#### 5) 調 整 作 業

機器の正常状態からのずれを補正するために行う作業。

例：チェーンの張り具合調整、ベルトの張り具合調整、計器の零点調整等

#### 6) 分解清掃作業

機器の点検掃除及び消耗品交換作業。

例：グランドパッキン、メカニカルシール、カップリングゴム、潤滑油の交換、閉塞物、スケールなどの除去

ただし、性能に関わる分解作業は専門メーカーに委託する。

例：ポンプ・回転機器等

#### 7) 作 業 記 録

点検結果を所定の用紙に記録する作業。

必要により計算を行って、機器の状態を判断する。



○ 機械設備

設備名	機器名	分類	日常点検	定期点検			
				1週間	1ヶ月	その他	
(1) 放流ゲート	放流ゲート	手動式	1. 開度確認 2. 油量の確認(油圧式)		1. 作動確認(開閉時間の測定と電流値の確認含む) 2. ネジ部のグリス塗布	6ヶ月	1. リミットスイッチ等の作動確認
		電動式					
		油圧式					
		自動降下式					
							1年
(2) 沈砂池設備	除塵機械	手がきバースクリーン	1. 停止機器を稼動させてレーキの走行状態・チェーンの状態、モーター・減速機の油面、温度、異音、振動の確認 2. スクリーンかすの除去			6ヶ月	1. チェーンの張り調整 2. グリスの補給、チェーンへのオイル補給
		連続式自動除塵機					
		間欠式自動除塵機					
		ロープ懸垂型					
		ロープ代車形				1年	1. チェーン、シャープピン、スプロケットホイールの磨耗状況の測定 2. 減速機潤滑油の交換 3. 取付ボルトのゆるみ確認 4. ワイヤロープの伸び、リミットスイッチの作動確認
	搬出機械	フライトコンベヤ	1. 停止機器を稼動させて、走行状態、ローラの回転状態 ワイヤーの損傷確認 2. 温度、異音、振動の確認		1. 取付ボルトのゆるみの確認 2. リミットスイッチの作動確認	6ヶ月	1. チェーンの張り調整 2. グリスの補給
		ベルトコンベヤ					
		スキップホイスト				1年	1. チェーン、シャープピン、スプロケットホイールの磨耗状況の測定 2. 潤滑油の交換
	貯留ホッパー	油圧式	1. スクリーンかす、沈砂の貯留状況、全閉状況、油圧、油面の確認		1. リミットスイッチの作動確認		
		パワーシリンダー式					
		スライドゲート式					



○ 機械設備

設備名	機器名	分類		日常点検	定期点検			
					1週間	1ヶ月	その他	
(3) 主ポンプ設備	ポンプ	立軸斜流ポンプ		1. 異音、温度、圧力、弁開度、水漏れ、振動の確認 2. グランドパッキンの確認			6ヶ月 1. 取付ボルトのゆるみの確認 2. グリス給脂	
		立軸渦巻斜流ポンプ						
		水中汚水ポンプ						
	ポンプの駆動装置	電動式	固定速	巻線形	1. 電流値、異音、温度の確認			2 ~ 3年 1. ブラシ、スリップリングの磨耗の確認及びブラシの清掃
				カゴ形				
			可変速	巻線形				
				カゴ形				
		ディーゼル機関		1. 振動、油漏れ、ボルトのゆるみ等の確認		自家発電設備に準ずる	自家発電設備に準ずる	
	バルブ	仕切弁	手動式	1. 開度の確認 2. 洩れ確認		1. 作動確認 2. グランドパッキンの確認	1年	1. グリス補給
			電動式					
		蝶形弁	手動式					
			電動式					
逆止弁		スイング式 フラップ式						
天井クレーン	手動式		1. 作動確認		別表の定期自主点検表に準ずる (クレーンなど安全規則準拠)	1年	別表の定期自主点検表に準ずる (クレーンなど安全規則準拠)	
	電動式							
(4) その他の設備	重油貯蔵施設		1. 貯留量の確認 2. 漏れの確認<地上式>			別表の定期自主点検表に準ずる		
	床排水ポンプ	槽外形	直結形	1. 油量確認 2. 作動、異音の確認		1. 排水槽の確認	6ヶ月 1. 排水槽内堆積物除去	
		水中ポンプ					1年 1. 点検清掃	
	配管			1. 漏れ確認				

○ 電気設備

設備名	機 器 名	分 類	日 常 点 検	定 期 点 検			
				1 週 間	1 ヶ 月	そ の 他	
( 1 ) 受 変 電 ・ 動 力 設 備	電線路	架空電線路			1. 標識・保護さくの状況確認 2. 電線の高さ・他の工作物・植物との離隔距離の確認 3. 端末部の腐食損傷の確認	1 年	1. 外部、接続部の損傷・腐食・過熱・変形ゆるみの確認
		地中電線路					
		母線					
	接地線	接地線			1. 端子箱の異常の確認		
	受変電設備	PAS・断路器・遮断機・避雷器・計器用変成器・開閉器類	1. 外観損傷の目視点検 2. 表示器等による異常の有無確認		1. 異物の付着確認 2. 損傷、油漏れ及びき裂の確認 3. 指示計、表示灯類の確認 4. 異音、異臭。振動の確認 5. 油量の確認 6. 温度の確認	1 年	1. 外部、接続部の損傷・腐食・過熱・変形ゆるみの確認 2. 付属装置の機能確認
		配電用変圧器					
		コンデンサ類					
		高圧リアクトル					
		ヒューズ類					
		保護継電器					
		その他付属設備					
	負荷設備	コントロールセンタ	1. 異音、振動、過熱、異臭の確認 2. 表示器等による異常の有無確認			1 年	1. 外部、接続部の損傷・腐食・過熱・変形ゆるみの確認
		可変速制御装置					
		補助継電器・制御盤					
		電動機					
		現場操作盤					
		照明設備					

○ 電気設備

設備名	機 器 名	分 類	日 常 点 検	定 期 点 検				
				1 週 間	1 ヶ 月	そ の 他		
(2) 自家発電設備	機関	ディーゼル			1. 外観の確認、保守運転の 損傷、油漏れ及びき裂 の確認、清掃 3. 指示計、表示灯類の確認 4. 異音、異臭、振動の確認 5. 温度の確認	3 ヶ 月	1. ボルト、ナットのゆるみ点検	
	発電機							
	燃料小出槽				1. 外観、油量の確認	6 ヶ 月	1. 水分、スラッジの有無確認	
	コンプレッサ 始動用空気槽				1. ベルト、ドレン、圧力 の確認	3 ヶ 月	1. 充気時間の確認	
	減圧水槽				1. 水位の確認			
	冷却水槽							
	冷却水ポンプ				1. 外観の確認 2. 異音、温度、圧力、弁開度 水漏れ、振動等の確認	6 ヶ 月	1. 取付ボルトのゆるみの確認 2. カップリングゴムの磨耗状況 の確認	
						1 年	1. 潤滑油の確認 2. 点検清掃	
	ラジエータ				1. 水温の確認			
	熱交換器							
	潤滑油調節弁				1. 油漏れの確認			
	温度調節弁				1. 外観の確認			
	給水装置	(ボールタップなど)			1. 水量の確認			
	始動用バッテリー		1. 直流電源装置に準じる					
	配電盤類	発電機盤				1. 異音、過熱、異臭の確認 2. 表示器等による異常 の有無確認	1 年	1. 汚損、損傷、過熱。ゆるみ 及び断線の異常確認 2. 開閉器、昇降装置の作動確認
		自動始動盤						
		補機盤、現場操作盤						

○ 電気設備

設備名	機器名	分類	日常点検	定期点検		
				1週間	1ヶ月	その他
(3) 制御・計装用電源設備	蓄電池	制御弁式船			1. 全セルの電槽、き裂、変形損傷、漏液の確認 2. 電圧、温度の確認	6ヶ月  1. 架台等の腐食、損傷、耐酸塗料の剥離、沈殿物の色相極板湾曲、隔離板、端子のゆるみ、損傷の確認
		ベント式船				
		アルカリ				
	直流電源装置 無停電電源装置	整流器、充電器	1. 異音、過熱、異臭の確認 2. 表示機器による異常の有無確認		1. 電圧、電流の確認	1年  1. 汚損、損傷、過熱、ゆるみ及び断線の異常確認 2. 開閉器類の作動確認
		インバータ				
		電源分岐盤				
		切換装置				
(4) 設備電線路	架空電線路					1年  1. 外観の確認 2. 碍子のき裂確認 3. 取付ボルトのゆるみ確認 4. ハンドホール内の点検清掃
	地中電線路					
	ケーブルラック					
(5) 計装設備	指示計器類	指示計	1. 外観の確認 2. 指示状況の確認		1. ゴミ、ほこりの除去 2. 記録紙の交換 3. インク、ペン部分の清掃及び交換 4. スライド部の清掃、給油	1年  1. 零点調整 2. 清掃
		記録計				
		積算計				
		調節計				
		ループコントローラ				
		演算器				
		警報設定器				
		手動設定器				
	共通機器類	電源装置	1. 外観の確認			1年  1. 清掃
		ディストリビュータ				
		信号変換機				
		避雷器				
		現場装置盤				

○ 電気設備

設備名	機器名	分類	日常点検	定期点検		
				1週間	1ヶ月	その他
(5) 計装設備	計装設備	液位計	1. 外観の確認 2. 指示状況の確認			1年 1. 零点調整 2. 清掃
		開度計				
		流量計				
		重量計				
		圧力計				
		温度計				
		回転数計				
		Ph計				
(6) 監視制御設備	監視装置	監視操作盤	1. 外観の確認 2. 計器の異常の有無確認 3. 表示灯の異常確認			1年 1. 冷却ファン、フィルタの状態確認
		計装盤、変換機盤				
	制御装置	制御盤、補助継電器盤	1. 外観の確認 2. 表示灯の異常確認			1年 1. 冷却ファン、フィルタの状態確認
		シーケンスコントローラ類				
(7) 付帯設備	照明設備		1. 外観の確認 2. 表示灯の異常確認			1年 1. 照明効果、汚損、損傷、過熱、ゆるみ、断線の確認
	動力設備					
	自動火災報知設備					
	電話設備					
	拡声器設備					
	テレビ共聴設備					
	避雷針設備					
	電気時計設備					
	街灯設備					

事業所名			所在地				
点検対象	設置許可年月日・番号						
	危険物の種類・品名・数量・倍数						
点検実施者	危険物取扱者	所属					
		氏名					
		免状の区分			免状番号		
	上記以外の者	会社名					
		所属					
		氏名					
		立会危険物取扱者	所属				
			氏名				
			免状の区分			免状番号	
危険物保安監督者	氏名			免状の区分		免状番号	
点検年月日	年 月 日		保存期限	年 月 日			

点検項目		点 検 内 容	点検方法	点検結果	設置年月日 及び措置内容
上部スラブ		亀裂、崩没、不当沈下の有無	目視		
タンク本体		漏洩の有無	*注 1		
通 気 管 等	通気管	位置、固定の適否	目視		
		腐食、損傷の有無	目視		
		引火防止網の脱落、腐食、 目詰まりなどの有無	目視		
	安全弁	腐食、損傷の有無	目視		
		作動状況	取外しによる機能試験		
計 測 装 置	自動覚知装置	損傷の有無	目視		
		作動状況及び指示の適否	目視		
	圧力弁	損傷の有無	目視		
		取付部のゆるみなどの有無	目視		
		指示状況	目視		
	計量口	蓋の閉鎖状況	目視		
		変形、損傷の有無	目視		
漏洩探知管		変形、損傷、土砂等の堆積の有無	*注 2		
注入口		蓋の閉鎖状況	目視		
		変形、損傷の有無	目視		
注入口ピット		亀裂、損傷、滯油、滯水、土砂等の 堆積の有無	目視		
		油種別表示の有無	目視		

点検項目		点 検 内 容	点検方法	点検結果	設置年月日 及び措置内容
配 管 等	配 管	漏洩の有無	*注3		
		変形、損傷の有無	目視		
		塗装状況及び腐食の有無	目視		
		固定の有無	目視		
	点検ボックス	亀裂、損傷、滞油、滞水、土砂等の堆積の有無	目視		
	バルブ	漏洩、損傷の有無	目視		
		開閉機能の適否	作動確認		
	電気防食設備	端子箱の損傷、土砂堆積、端子のゆるみなどの有無	目視		
		防食電位(電流)の適否	電位計による測定		
ポン プ 設 備 等	ポンプ	漏洩の有無	目視		
		異音、異常振動、異常発熱の有無	目視		
		塗装状況及び腐食の有無	目視		
		固定ボルトの腐食及びゆるみなどの有無	目視及びテストハンマーなどによる		
	ポンプアース	断線の有無	目視		
		取付部の緩みなどの有無	目視		
		接地抵抗の適否	接地抵抗計による測定		
	囲い、床、 ためます、 油分離槽	損傷の有無	目視		
		滞水、滞油、土砂堆積等の有無	目視		
	建家及び 付帯設備	屋根、壁、開口部等の損傷の有無	目視		
		換気設備の作動状況	目視		
電 気 設 備	配電盤、 分電盤	損傷の有無、防水機能の適否	目視		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	遮断器	損傷の有無	目視		
		遮断機能の適否	動作確認		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	コンセント、 配線	損傷の有無	目視		
		絶縁抵抗の適否	絶縁抵抗計による測定		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	電動機	損傷の有無	目視		
		結合部のゆるみなどの有無	目視		
		異音、異常振動、異常発熱の有無	目視		
		防爆型機器等の機能の適否	目視		
	設置	損傷、結合部のゆるみなどの有無	目視		
		接地、抵抗値の適否	絶縁抵抗計による測定		

点検項目	点 検 内 容	点検方法	点検結果	設置年月日 及び措置内容
移動タンク用 接地電極	損傷、結合部のゆるみなどの有無	目視		
	接地、抵抗値の適否	接地抵抗計による測定		
標識、掲示板	取付状況、記載事項の適否 及び損傷、汚損の有無	目視		
警 報 装 置	損傷等の有無	目視		
	作動状況	作動確認		
消 火 器	位置、設置数、外観的機能の適否	目視		
蒸発防止装置	損傷等の有無	目視		
	切替弁の作動状況	目視		

- 注 1. 検尺棒、自動覚知装置等により終業時、始業時ごとに危険物量を計ることによって、漏洩の有無を確認し記録しておくこと。
2. 長尺棒等により確認するとともに併せて漏洩危険物の有無についても確認すること。
3. 配管のうち地下に埋設されているものについては、点検ボックス等において確認すること。

- 備考 1. 措置内容欄に記入できない場合は、別紙に記載し添付すること。
2. 点検項目中、ポンプ設備等及び電気設備については、当該地下タンク貯蔵所の付属設備として許可設備である場合について記入すること。



